



この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2024年1月7日号

編集 / 毎日新聞社カスタマーリレーション本部

能登地震発生から1週間 現地の状況と課題は

8日(月)=1、3、社会面

最大震度7を記録し、多数の人たちが犠牲になった能登地震。道路やライフラインが各地で寸断し、余震も続いており、住宅を含めた被害の全容はまだ明らかになっていません。真冬の寒さの中、避難者は数万人に上っています。8日で発生から1週間。現地の状況や課題について、深掘りします。



石川県輪島市の「朝市通り」付近では建物の多くが焼け落ちていた=3日撮影

論点 2024年にのぞんで 宗教と社会の今を考える 10日(水)=オピニオン面

去年は宗教に関するニュースが目立ちました。世界平和統一家庭連合(旧統一教会)の解散命令請求や、池田大作創価学会名誉会長の死去のほか、世界

に目を転じるとイスラエルとイスラム組織ハマスの軍事衝突も宗教に関係しています。宗教は精神的なセーフティネットとなっている側面もあります。

仏教学者の末木文美士・国際日本文化研究センター名誉教授に、家族や地域の結びつきが弱まる中での宗教や、平和について聞きました。

インタビューに答える菅井竜也八段
||東京都渋谷区で



インタビューに答える藤井聡太王将
||名古屋市中村区で



将棋の藤井聡太王将(21)に菅井竜也八段(31)が挑戦する王将戦七番勝負が7日、栃木県大田原市で開幕します。藤井王将は王将3連覇と、大山康晴十五世名人の持つタイトル戦最多連覇記録を上回る20連覇がかかるシリーズです。振り飛車がかか



将棋・王将戦開幕

8日(月)1、社会面

意な菅井八段は、昨年の叡王戦五番勝負で藤井王将に1勝3敗で敗れましたが、たびたび苦しめました。藤井王将の8冠独占を誰が崩すが注目される中、藤井王将が今年最初のタイトル戦に臨みます。

特集 ワイド

森が見えないデジタル社会 高村薫さんが語る 12日(金)=夕刊2面

ウクライナでもイスラエルでも、争いはやみません。スマートフォン時代の現代は、海の向こうの戦闘が微細なところまで可視化されます。一方、作家の高村薫さん=写真=は、このデジタル社会を「木の情報ははっきり

見えるのに、森が見えない時代」と評します。私たちは社会をふかんし、物事の本質を直視できているのでしょうか。「特集ワイド」の新年企画「生きてゆくあなたへ」初回として掲載します。



竹橋の窓辺から

編集後記

8冠で沸いた2023年の将棋界。2024年も明け早々、熱い戦いが始まっています。今期のALSO杯王将戦は、3連覇を目指す藤井聡太王将と、王将初挑戦となる菅井竜也八段が対戦します。主催する毎日新聞社は第2局(1月20、21日)を前に、七番勝負の展開を占うオンラインイベント「『振り飛車』で挑む8冠の牙城」を開催します。みなさまのご参加をお待ちしています。(斎藤広子)

